

第4回 脳血管医療センター名称部会議事録	
日 時	平成26年7月7日(月) 19時00分～20時00分
開催場所	崎陽軒本店 6階 2号室
出席者	〔委員〕 藤井清孝部会長、篠原弘子委員、林貞三委員、古谷正博委員、吉井宏委員 〔病院経営局〕 新井勉計画推進担当部長、他 〔脳血管医療センター〕 加藤利彦脳血管医療センター管理部長、他
開催形態	公開（傍聴者6人）
議 事	(1) 脳血管医療センターの病院名称について (2) その他
決定事項	・「横浜市立 脳卒中・神経脊椎センター」を名称案として選定し、横浜市立病院経営評価委員会に報告書を提出する。
議 事	<p>開 会</p> <p>○原田課長</p> <p>ただいまから第4回横浜市立脳血管医療センター名称部会を開催させていただきます。</p> <p>本日の部会でございますが、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>なお、傍聴の方におかれましては、会場内の指定された場所に着席し、静粛に傍聴していただきますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>また本市では、会議録につきまして、原則として公開することとなっております。議事につきましても、原則として個々の発言者名及び発言内容を記載することとされております。会議録につきましては、事務局で調整したものを各委員にご確認いただいた上で確定し、1カ月以内に公開する運びとなっておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは早速でございますが、議事に入らせていただきます。藤井部会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>議 事</p> <p>(1) 脳血管医療センターの病院名称について</p> <p>○藤井部会長</p> <p>部会長の藤井でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず本日の議事を始める前に、お手元にお配りしておりますが、「横浜市立脳血管医療センター名称部会に対する要望」が、「脳卒中から助かる会」代表の上野正氏から、部会長である私あてに提出されました。これまで本部会において脳血管医療センターの名称について検討してまいりましたが、その検討に当たっては有識者の意見、アンケート結果を参考に、部会の委員で議論し、名称を選定することとしております。アンケートの質問の表現については、第2回の議論を踏まえ、詳細については部会長に一任ということになりましたので、回答者が回答しやすいように一部修正し実施しております。また、アンケートはアンケートの結果で名称を決めるので</p>

	<p>はなく、それぞれ対象者を変えたアンケートを実施し、幅広く意見を聞き、その傾向を参考に名称を選定することといたしました。そのため、アンケートの処理については、対象者ごとに具体的にどの言葉を名称に選んだ人が多いのかの傾向を見るために、アンケートごとに全体に占める割合を参考に記入したものを委員会資料としております。そのため、部会として意図的にデータの不正処理、改ざんを行った事実はありません。事務局からもし補足することがありましたら、説明をお願いしたいと思います。</p> <p>○谷口センター総務課長 それでは補足させていただきたいと思います。</p> <p>まず1点目ですが、eアンケートのQ4のところですが、具体的にどの部位を入れたらわかりやすいと思いますかという設問が、第2回の部会の時点では、具体的にどの部位を入れたらいいと思いますかになっていました。体の部位を選択するこの設問については、「いいか」という表現よりも、具体的にどの部位を入れたら「わかりやすい」という表現のほうがより適切な表現だろうということで、こちらについては部会長の了承を得て変更したものでございます。</p> <p>2点目ですが、eアンケートのQ4、5、6でございますけれども、こちらは具体的な名称に入れる言葉を「部位」「地名」「イメージ」の3つのカテゴリーに便宜上分けて、それぞれ複数選択でお尋ねしたものでございます。選択肢ごとの割合を算出するに当たりまして、アンケートの回答者数、eアンケートでは815件になりますが、それを分母として算出しお示しいたしました。これは名称検討に当たりまして、「部位」「地名」「イメージ」それぞれの選択肢間の比較をやすくするために、共通の分母である回答者数を分母として算出してお示ししたものでございます。</p> <p>3点目でございますが、有識者意見聴取のうち、病院機能と採算性に関するご意見が第3回部会資料1-2、これは有識者への意見総括をまとめたものでございますが、こちらから省かれているというご指摘でございます。有識者意見につきましては資料1-1で委員ごとにお示ししておりまして、資料1-2の総括表のほうは、そのうち名称に関する意見だけを抜粋してお示したものとご理解いただければと思います。</p> <p>なお、eアンケートのQ2でございますが、Q1で当センターをご存じですと回答された方に対して、知るきっかけをお尋ねした設問でございます。これについては知った理由をお聞きしたものでございますので、知らなかった方を除外いたしまして、Q1で名前や概要を知っているとか、名前は聞いたことがあると回答した326件を分母といたしました。この点につきましては、第2回資料2-2でその旨の記載がなかったため、本日席上に配付してございますが、その旨を注記した資料に差し替えさせていただきたいと考えております。</p> <p>事務局の補足は以上でございます。</p>
--	---

○藤井部会長

アンケートの結果を示すのに、分母をどうするかとか、いろいろとご苦労なされたように思います。委員の皆様方はこの要望について、ただいまのご説明でご了解いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。林委員もよろしいでしょうか。古谷委員もよろしいでしょうか。

それでは特段の不正があったとは言えないと思いますので、上野氏に対する回答は行わないことといたしますが、皆様、よろしいでしょうか。それではそのようにさせていただきます。

それでは議事に入ります。本日の議事は、(1)「脳血管医療センターの病院名称について」です。資料は前回配付したものととなりますので、事務局からの説明は省略いたします。前回、有識者の意見聴取及びアンケートの結果をもとに、委員の皆様方には議論いただきました。その結果、まず地名として「横浜」を入れること。例えば「横浜市立」を最初につける。最後は「医療センター」ないし「センター」という形にする。その間に病院の専門領域あるいは部位など、「現在の病院機能をあらわす言葉」を入れることを前回確認し、今日までの間委員会で意見交換を行い、部会案を調整してきました。その内容をメモとして作成いたしましたので、ご確認をお願いいたします。事務局からメモを委員に配付していただけますでしょうか。

これをお読みいただいてご確認いただければと思いますが、「横浜」と「センター」の間に入れる「現在の病院機能をあらわす言葉」として、「脳卒中」「神経」「脊椎」としたいと思います。

「脳卒中」については、当院が専門病院として今後も横浜における「脳卒中」医療の基幹施設であることを示しております。また、「脳卒中」は医療法で国民の健康の保持をはかるために特に医療の提供が必要な疾病、いわゆる5疾病として厚生労働省令で「脳卒中」という病名が明記されています。学界や団体も「脳卒中」を使用しており、国会で「脳卒中对策基本法」が現在審議されて、継続審議となっております。公的にも広く「脳卒中」という疾患が使われており、一般になじみがある言葉であると思います。アンケートでも多くの方が「脳血管」を名称に入れることを選択されています。アンケートを行った時点では、病名を病院名称につけるには制限があるとのことで「脳血管」という部位を選択肢としておりましたが、この部会で事務局から説明がありましたとおり、「脳卒中」については使用可能ということでしたので、この際病院名に「脳卒中」を入れることとしたいと思います。

「神経」については、医療機能拡充の中で幅広く神経疾患に対応していくことを示すもので、難病や腫瘍、脳・脊髄といった中枢神経の疾患に対応していくことを示したものです。

「脊椎」は、医療機能拡充の中で新たに取組んだ領

	<p>域であり、一定の診療実績も上げています。側弯症など、学校保健事業との連携した取り組みを行っていることから、「脊椎」についても名称に加えることといたしました。</p> <p>なお、「脳卒中」は疾患群の名称、「神経」「脊椎」は体の部位の名称であり、並列に扱うことは難しいところから、間に点——ポチを入れます。</p> <p>以上のことから、名称案としては「横浜市立 脳卒中・神経脊椎センター」ではどうかと考えております。各委員からご意見をお伺いしたいと思います。この名称であれば患者さんあるいは市民の方々あるいは医療関係者からも、その内容について比較的容易に理解がいただけるものではないかと考えております。ご意見はいかがでしょうか。どなたからでも結構ですが、林委員、いかがでしょうか。</p> <p>○林委員 私は、この前述べましたとおり、基本的には病院名はこれでいいのではないかなとは思っております。特にこれからいろいろと診療される病院なのですが、本当に今言っている脳血管関係の、私なんかよくわからないのだけど、そういう治療も含めてしっかりとやっていただければ非常にいいのではないかという気がいたします。この病院名はそんなことが結構広く入っているのでもいいのかなと思っております。</p> <p>○藤井部会長 ありがとうございます。それでは篠原委員、いかがでしょうか。</p> <p>○篠原委員 私も今の提案された病院名に賛成です。「脳卒中」というのが脳血管のかかわる疾患の総称でありますので、「脳血管」というところを選んだ方も多いわけですので、ここでそのことが網羅できるという。あと、国のこれからできる対策基本法なども見ますと、「脳卒中」という病名自体が国民にとって一般的な病気に位置づけられてくるということですので、みんなが見て、何を扱う病院なのかということが非常にわかりやすくなるのではないかと考えています。それから「神経」という部分は、脳神経、脊髄神経両方をしっかりとあらわしているわけですので、それも非常に適切なのかなと思っております。</p> <p>○藤井部会長 ○古谷委員 以上です。 ありがとうございます。古谷委員、済みません。 古谷でございます。おくれまして申しわけございません。今、部会長からご説明いただきました、「脳血管」と「脳卒中」の取りまとめにつきましても、よく理解できました。それから「神経」「脊椎」ということを入れていただいて、この案の「横浜市立 脳卒中・神経脊椎センター」と、わかりやすい病院名になったのではないかと思います。</p> <p>○藤井部会長 ○吉井委員 以上でございます。 吉井委員、お願いします。 大まかに賛成ですが、「脳卒中」という疾患名と「神経」「脊椎」という部位名両方が並行しているのは違和</p>
--	--

	<p>感があって、実際には「脳卒中・神経脊椎疾患センター」みたいなのがいいと思うのですが、余り長くなっても切りがないので、状況が許せばということで、これで結構だと思います。</p> <p>○藤井部会長 確かに「脳卒中」という病態と、あとは「神経」「脊椎」という部位ということで、おっしゃったように「神経脊椎疾患センター」あるいは「医療センター」とか、そういった呼び方も当然考えられますが、なるべく短くわかりやすくということもございますし、こういったことで案をつくらせていただいたということです。</p> <p>ほかに何か追加のご意見はございますか。もしよろしければ、この名称部会としては「横浜市立 脳卒中・神経脊椎センター」を名称案として選定することでよろしゅうございますか。ありがとうございます。</p> <p>では「横浜市立 脳卒中・神経脊椎センター」を名称案といたします。部会としては明日以降、横浜市立病院経営評価委員会に報告書を上げていきますが、報告書の作成については本日お示ししたメモをもとに作成し、資料として有識者の意見聴取とアンケートの結果を添付したいと思っております。作成につきましては私に一任していただいでよろしゅうございますでしょうか。ありがとうございます。委員の皆様には精力的に名称案の策定作業にご協力いただき、ありがとうございます。</p> <p>(2) その他</p> <p>○藤井部会長 議事の(2)「その他」または事務連絡として、事務局から何かございますか。</p> <p>○原田課長 ありがとうございます。事務局から1点お願いでございます。議事録の公開の件についてでございますが、冒頭ご案内いたしましたとおり、本日の議事内容につきましては、後日議事録としてまとめまして、内容のご確認をいただいた上で1カ月後に公表させていただきたいと考えております。よろしくお願いたします。</p> <p>○藤井部会長 ただいま事務局より議事録の公開について説明がありました。委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>閉 会</p> <p>○藤井部会長 それでは本日予定していた議事は以上でございます。これをもちまして、第4回横浜市立脳血管医療センター名称部会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>
--	--

<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>I 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有識者への意見聴取 ○脳血管医療センター新名称についてのアンケート ○脳血管医療センターの新名称について（部会長メモ） ○横浜市立脳血管医療センター名称部会に対する要望 ○脳血管医療センター新名称についてのアンケート e アンケート集計結果 <p>II 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 か月以内に会議録は公開し、資料とあわせ閲覧に供し、ホームページに掲載します。
---------------------------	---